

フィリップス、携帯型超音波画像診断装置「Lumify R5.1」を発売

AI を活用した*Auto EF、Auto B-Line などの新機能を搭載し、POCUS の活用を支援



株式会社フィリップス・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：安部 美佐子、以下 フィリップス）は、携帯型超音波画像診断装置「Lumify（ルミファイ）」の最新モデル「Lumify R5.1」を 8 月 4 日（火）より販売開始します。

近年、超高齢社会の進展や医療提供体制の変化を背景に、救急医療、集中治療、在宅医療などの現場で、ベッドサイドで迅速に超音波検査を行う「ポイントオブケア超音波（POCUS）」の活用が拡大しています。POCUS は、心血管評価や呼吸器診療、周術期管理など幅広い診療領域で利用されており、診断支援に加え、処置支援や患者モニタリングのツールとしても重要性が高まっています。

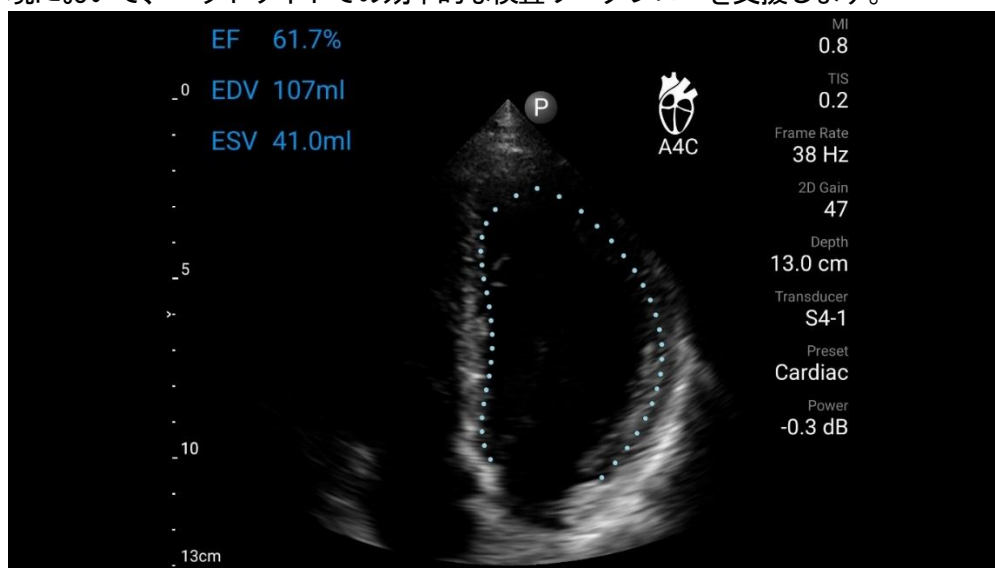
また、日本国内では医療従事者の負担軽減や診療効率の向上が求められており、迅速かつ客観的な情報を提供するソリューションへの期待が高まっています。

こうしたニーズに応えるため、「Lumify R5.1」では、循環器評価や肺評価を支援する機能に加え、救急領域での活用を想定した機能を新たに搭載しました。これにより、さまざまな診療現場におけるPOCUSの活用を支援し、迅速な臨床判断と検査ワークフローの効率化に寄与することが期待されます。

「Lumify R5.1」主な製品特長

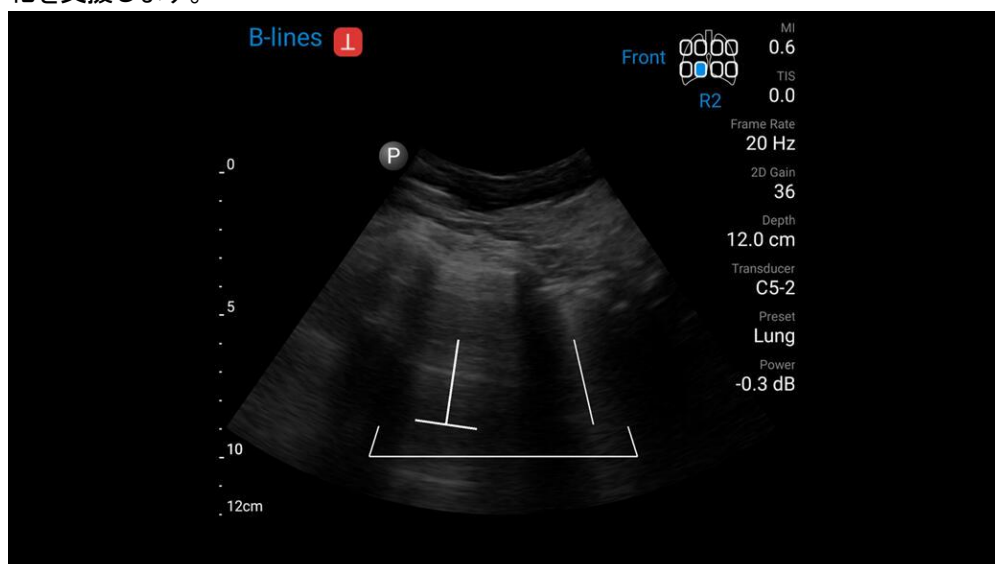
1. Auto EF

Auto EFは、AIを活用し*、左室駆出率（Ejection Fraction：EF）の定量評価を支援する自動解析機能です。これにより、手動トレースによる操作負担を軽減するとともに、検査者の経験やスキルレベルによる評価のばらつき低減と評価手順の標準化を支援します。心機能の定量評価を効率的に支援することで、救急、集中治療、循環器診療をはじめとするさまざまな診療環境において、ベッドサイドでの効率的な検査ワークフローを支援します。



2. Auto B-line

今回のアップデートでは、従来のリアルタイム B-line カウンティング機能に加え、AIを活用した*解析により、新たに癒合 B-line の検出に対応しました。これにより、肺エコー評価における情報取得を支援します。検査者による目視評価の負担軽減と評価手順の標準化を支援し、救急、集中治療、呼吸器診療など、迅速な臨床判断が求められる診療環境における検査ワークフローの効率化を支援します。



3. 眼球エコー

新たに眼球エコー用プリセットを搭載しました。眼内および眼窩周囲の構造評価を支援し、救急領域における眼外傷患者の初期評価を支援するとともに、ベッドサイドでの迅速な情報収集を可能とします。

*AI 技術の設計には Deep Learning または Machine Learning を使用しており、実装後に自動的に装置の性能・精度は変化することはありません

販売名：超音波画像診断装置 Lumify
医療機器認証番号：302AFBZX00043000
管理医療機器／特定保守管理医療機器

フィリップス・ジャパンについて

株式会社フィリップス・ジャパンは、ロイヤルフィリップスの日本法人として 1953 年に創業以来、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指しています。主な事業領域は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、睡眠・呼吸治療、およびパーソナルヘルスと多岐に渡ります。ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーとして、超高齢化が進む日本の医療・健康課題解決に向け取り組んでいます。日本の従業員数は約 2,000 人、約 70 拠点でビジネスを展開しています。（<https://www.philips.co.jp>）

ロイヤルフィリップスについて

ロイヤルフィリップス（NYSE:PHG, AEX:PHI）は、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指す、ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーです。フィリップスの革新的技術は人々を中心に設計されています。先進的技術と医療従事者および消費者のインサイトを活用し、消費者にはパーソナルヘルスソリューションを、医療従事者とその患者様には病院や家庭でのプロフェッショナルヘルスソリューションを提供しています。オランダに本社を置く当社は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、およびパーソナルヘルスの分野で世界をリードしています。フィリップスの 2025 年の売上高は 180 億ユーロ、全世界に約 64,800 人の従業員を擁し、世界 100 か国以上でビジネスを展開しています。フィリップスに関するニュースはこちらからご覧ください。

（<http://www.philips.com/newscenter/>）

医療機器および企業に関するお問い合わせ

株式会社フィリップス・ジャパン
コミュニケーション担当
press@philips.com